

山形大学小白川図書館上映会



山形国際ドキュメンタリー映画祭 2013
インターナショナル・コンペティション上映作品

『空低く 大地高し』

2017 2 / 17 Fri
start 17:00

上映終了後、人文学部准教授 今村真央先生
による作品解説があります。

会場 山形大学小白川図書館1F
シアタールーム

料金 無料

問合せ 023-666-4480
info@yidff.jp
(映画祭事務局)

タイとカンボジア

領土を分ける境界線—
社会階層を分ける境界線—
誕生と死を分ける境界線—

そして、
幸せと悲しみを分ける境界線

『空低く 大地高し』 監督：ノントワット・ナムベンジャポン／タイ、カンボジア、フランス／2013／96分

2010年、タイの若手映像作家ノントワットは、カンボジア国境に接するシーサケート県出身の24歳の若者と出会う。タイ南部で兵士をしていたが除隊し、故郷に帰ろうとしている彼の経験を糸口に、タクシン派（農村中心の赤シャツ派）と反タクシン派（都市の黄シャツ派）が対立する政治闘争、カンボジアとの国境紛争、国境沿いの人々の暮らしが描かれる。鮮やかな色彩、緩やかな動きが印象的な独特の映像感覚を通して、新しい世代の政治への批判的なまなざしが浮かび上がる。



ノントワット・ナムベンジャポン

1983年5月2日、タイ・バンコク生まれ。ランシット大学芸術学部ビジュアルコミュニケーションデザイン科卒。彼の作品の主題は「空間」である。ドキュメンタリー第1作『Weirdrosopher World』（2005）は、タイの社会で自分の居場所を探すスケートボーダーたちの物語。この映画はタイ有数の映画スタジオGTHと、映画監督タンスカ・パンシッティヴオラクンが設立した、インディペンデント映画製作を支援する非営利組織タイインディの後援で製作、バンコク実験映画祭とバンコク世界映画祭で上映された。

上映終了後、人文学部人間文化学科准教授の今村真央先生による作品解説があります。